

拡散防止措置の有効性に関する情報の公開等について
H24.3.16版

※ 本資料を使用するに当たって

本資料は、個別の申請毎に拡散防止措置の有効性を評価したものであり、新たな運用上のルール等を定めたものではありません。類似する遺伝子組換え生物等の使用等であっても、遺伝子組換え生物等の特性や使用の態様によっては、執るべき拡散防止措置が異なる場合があります。本資料をもって、当該遺伝子組換え生物等に必要な拡散防止措置の文部科学大臣による確認が不要となるものではありません。

会合開催 日時	議題、審議案件等	使用する遺伝子組換え生物			大臣確認を 要する主な 理由(二種省 令別表第1の 該当箇所等)	拡散防止 措置の区 分	左記の拡散防止 措置を執った理 由
		宿主の名称及び 実験分類	供与核酸並びに 核酸供与体の名 称及び実験分類	遺伝子組換え生物の特性と使用の 態様			
第80回 (H23.4.25)	テトロドキシン生産菌のゲノム解析に基づく生合成経路の解明 (東京工業大学)	大腸菌K12株 (クラス1)	Shewanella algae, Pseudoalteromonas tetrodonis, Vibrio alginolyticus (実験分類未決定)	3種の細菌の遺伝子の一部領域を、(別々に)大腸菌に導入する。	1-イ	P2	核酸供与体である細菌は、カルタヘナ法上の実験分類が決められていないが、クラス2と同様の病原性等を有すると想定されるため。
	外来遺伝子(PCV2のORF2と大腸菌のLacZ)を挿入した豚痘ウイルスを宿主とする組換え豚痘ウイルスの作製 (セバ・ジャパン株式会社)	豚痘ウイルス (クラス2)	豚サーコウイルス (クラス2)等	豚サーコウイルスの遺伝子の一部領域、大腸菌のLacZ遺伝子等を、豚痘ウイルスに導入する。また、そうして得た組換え生物を、培養細胞へ接種する。	1-ヘ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。

	ヒトT細胞白血病ウイルス I 型(HTLV-1)遺伝子を発現する組換えワクシニアウイルスの作成と感染実験(京都大学)	ワクシニアウイルス(クラス2)	ヒトT細胞白血病ウイルス I 型(HTLV-1)(クラス2)等	HTLV I 型の遺伝子の一部領域等をワクシニアウイルスに導入する。また、そうして得た組換え生物を、動物へ接種する。	1-へ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	鳥インフルエンザウイルスの病原性に関するPB2内の領域の同定(独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構)	インフルエンザウイルスの高病原性株(クラス3)	インフルエンザウイルスの高病原性株(クラス3)	高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)に点変異を加える。また、そうして得た組換え生物を、動物へ接種する。	1-へ	P3、P3A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	異種間での体細胞核移植実験(プライムテック株式会社)	親生物として以下を用いる ブタ、カニクイサル(クラス1)	/	宿主(親細胞)をブタ、核酸供与体のカニクイサルとした細胞融合実験。動物個体にはしないもの。	細胞融合実験	P1A	動物個体にはしないが、胚を作成するため、法対象となる。哺乳動物等への病原性等はない。
	マウスノロウイルスを利用した経口ワクチン用ベクター開発のための基礎実験(国立長寿医療研究センター)	マウスノロウイルス(クラス2)	オワンクラゲ(クラス1)	オワンクラゲ由来のEGFP等のマーカー遺伝子等を、マウスノロウイルスに導入する。そうして得た組換え生物を、培養細胞へ接種する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
その他、申請者の希望により、非公開が2件。							
第81回 (H23.5.30)	外来性遺伝子(レポーター遺伝子)を挿入したプロテインAもしくはプロテインG融合型Hタンパク質発現麻疹ウイルスの作製(国立感染症研究所)	麻疹ウイルス(クラス2)	各種レポーター遺伝子(クラス1もしくははクラス2)	麻疹ウイルスに各種レポーター遺伝子を導入する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス非構造タンパク質VP5の機能解明(鳥取大学)	伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス(クラス2)	伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス(クラス2)	一部領域の欠損又は変異を持つ伝染性ファブリキウス嚢病ウイルスを作成する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。

	リバースジェネティクス法による麻疹ウイルス変異体および麻疹センダイキメラウイルスの作製と増殖能の解析 (関西総合文理学園)	麻疹ウイルス(クラス2)	センダイウイルス(クラス2)	変異を持つ麻疹ウイルス及び麻疹ウイルスとセンダイウイルスのキメラウイルスを作成する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	遺伝子組換えマウスガンマヘルペスウイルス68を用いた培養細胞レベル・個体レベルでのウイルス感染動態の解析 (九州大学)	マウスガンマヘルペスウイルス68 (実験分類未決定)	マウスガンマヘルペスウイルス68 (実験分類未決定)	変異を導入したマウスガンマヘルペスウイルス68を作成する。同組換えウイルスをマウスに接種する。	1-イ 1-へ	P2、P2A	宿主であるウイルスはカルタヘナ法上の実験分類が決められていないが、クラス2と同様の病原性等を有すると想定されるため。
	リバースジェネティクス(RG)技術を用いた新型および季節性A型インフルエンザウイルスのHA蛋白質の精製の為のウイルス株作製 (国立感染症研究所)	インフルエンザウイルス(クラス2)	インフルエンザウイルス(クラス2)	プロテアーゼ認識配列を付与したHA遺伝子を含むインフルエンザウイルスを作製する。同組換えウイルスを発育鶏卵に接種する。	1-へ	P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	変異型C型肝炎ウイルスの作製に基くC型肝炎ウイルス産生機構の研究(日本大学)	C型肝炎ウイルス(クラス2)	C型肝炎ウイルス(クラス2)	点変異や欠損を導入したC型肝炎ウイルスを作成する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	その他、申請者の希望により、非公表が1件。						
第82回 (H23.7.28)	ウマMHCクラス I 遺伝子導入マウスの作製とそれを利用したウマヘルペスウイルス1型感染モデルの確立 (北海道大学)	マウス(クラス1)	ウマ(クラス1)	ウマの遺伝子を導入した、遺伝子組換えマウスを作出する。また、同マウスに非組換えのウイルスを接種する。	3-ロ	P1A、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 ただし、非組換えウイルスの接種については、同ウイルスがクラス2であることを考慮し、P2Aの拡散防止措置を執

エンテロウイルス71感受性マウスの作成とウイルス接種実験(II)(東京都医学総合研究所)	マウス(クラス1)	ヒト(クラス1)	ヒトの遺伝子を導入した、遺伝子組換えマウスを作出する。また、同マウスにウイルスを接種する。	1-へ 3-イ	P1A、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。 ただし、ウイルスの接種については、同ウイルスの病原性等を考慮し、P2Aの拡散防止措置を執
C型肝炎ウイルス(HCV)ゲノム組換えアデノウイルスベクターの開発(大阪大学)	アデノウイルス(クラス2)	C型肝炎ウイルス(クラス2)	C型肝炎ウイルスの遺伝子をアデノウイルスに導入する。また、同組換えウイルスをマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
カニクイザル体細胞とウサギ卵子の細胞融合による異種間核移植法の開発(医薬基盤研究所)	親生物として以下を用いるウサギ、カニクイザル(クラス1)		カニクイザル体細胞とウサギ卵子の細胞融合を行う。	細胞融合実験	P1	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
第7分節に変異を導入した組換えインフルエンザウイルスの作成を通じたM1およびM2ウイルスタンパク質の機能解析(微生物化学研究会)	インフルエンザウイルス(クラス2)	インフルエンザウイルス(クラス2)	インフルエンザウイルスに複数の点変異を導入する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
GFPを導入した組換えインフルエンザウイルスを利用した抗ウイルス剤スクリーニング系の構築(微生物化学研究会)	インフルエンザウイルス(クラス2)	水疱性口内炎インディアナウイルス(クラス2)、GFP(クラス1)	水疱性口内炎インディアナウイルスの一部領域とGFP遺伝子をインフルエンザウイルスに導入する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。

組換えポリオウイルスを利用した体内伝播機構の解明（微生物化学研究会）	ポリオウイルス（クラス2）	ポリオウイルス（クラス2）、各種蛍光タンパク質遺伝子（クラス1）	変異や欠損のある遺伝子組換えポリオウイルスを作成する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
HA抗原性解析のためのリバースジェネティクス法を用いたインフルエンザウイルスの作製（農業・食品産業技術総合研究機構）	インフルエンザウイルス（クラス2）	インフルエンザウイルス（クラス3）	高病原性鳥インフルエンザの一部領域をインフルエンザウイルスに導入する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
鳥インフルエンザウイルスの鶏病原性と関与するNP遺伝子分節を持つ低病原性H9N2ウイルスの作出と鶏増殖性の解析（農業・食品産業技術総合研究機構）	インフルエンザ（クラス2）	インフルエンザウイルス（クラス3）	高病原性鳥インフルエンザの一部領域を低病原性鳥インフルエンザウイルスに導入する。得られた組換えインフルエンザウイルスを鶏に接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
ファイバー改変型腫瘍溶解性アデノウイルスの作製と抗腫瘍効果の検討（兵庫医科大学）	アデノウイルス（クラス2）	アデノウイルス（クラス2） ヒト（クラス1）	株の異なるアデノウイルスの一部領域及びヒト由来プロモーターを導入した組換えアデノウイルスを作成する。また、同組換えアデノウイルスを培養細胞およびマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
UL13, UL23, UL30, UL41, UL50, US3, US9, US11, US12遺伝子欠損、および蛍光蛋白質（EGFP、dsRed）、乳糖分解酵素（ β -ガラクトシダーゼ）を発現する組換えヒト単純ヘルペスウイルス1型（HSV-1）の作製と感染実験（福島県立医科大学）	ヒト単純ヘルペスウイルス（クラス2）	各種マーカー遺伝子（クラス1）	遺伝子欠損ヒト単純ヘルペスウイルスを作成し、マーカー遺伝子を導入する。また、同組換え単純ヘルペスウイルスを培養細胞およびマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
その他、申請者の希望により、非公表が2件。						

第83回 (H23.9.30)	キャプシド蛋白質修飾アデノウイルス・ライブラリーを用いた細胞・組織特異的ベクターの開発(3) (国立がん研究センター)	アデノウイルス(クラス2)	ヒト(クラス1)、各種マーカー遺伝子	アデノウイルスのキャプシド蛋白質に係る遺伝子領域を改変した遺伝子組換えウイルスを作成する。同ウイルスをマウス等に接種する。	1-へ 3-イ	P3、P3A	新たな感染特異性を獲得する可能性があるため、P3レベルの拡散防止措置を執る。
	制限増殖型アデノウイルス欠損変異株を用いた悪性腫瘍に対する抗腫瘍効果のイメージング その2 (国立がん研究センター)	アデノウイルス(クラス2)	ヒト(クラス1)、各種マーカー遺伝子	炎症組織や腫瘍で増殖する遺伝子組換えアデノウイルスを作成する。同ウイルスをマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	インフルエンザウイルスのマトリックスタンパクの機能解析 (鳥取大学)	インフルエンザウイルス(クラス2)	インフルエンザウイルス(クラス2)	インフルエンザウイルスの株間キメラを作成する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	レポーター遺伝子であるGFPおよびLuciferaseを挿入したシンドビスウイルス(Sindbis virus)を用いた哺乳動物培養細胞、ショウジョウバエ培養細胞およびショウジョウバエ個体への感染実験 (東北大学)	シンドビスウイルス(クラス2)	オワンクラゲ(クラス1)等	オワンクラゲ等由来のマーカー遺伝子を、シンドビスウイルスに導入する。同ウイルスを培養細胞又はショウジョウバエに接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	HSVアンプリコンベクターと弱毒化HSV-1 HF10を利用した腫瘍溶解性ウイルス療法の開発 (名古屋大学)	Herpes simplex virus 1型(クラス2)	マウス、ヒト(クラス1)	組換えHSV(HSVの外被のみをもった非増殖型のアンプリコンベクター)を作製する。それを、HSVとともにマウス等に接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。

組換え水痘帯状疱疹ウイルスを用いた新規抗ウイルス化合物の作用点解析 (国立感染症研究所)	水痘帯状疱疹ウイルスのうち、ワクチン株(クラス1)	水痘帯状疱疹ウイルス(クラス2)、オワンクラゲ(クラス1)	水痘帯状疱疹ウイルスのワクチン株に変異及びマーカー遺伝子を導入する。	1-へ	P2	ワクチン株ではない野生型の宿主と比較して、病原性等が変化することが想定されないため。
レポーター遺伝子発現組換えキメラゲノム型ヒトパラインフルエンザウイルス1型の相補DNAからの作製および培養細胞への感染による感染機構の解析 (国立感染症研究所)	ヒトパラインフルエンザウイルス(クラス2)	各種マーカー遺伝子	ヒトパラインフルエンザウイルスの株間キメラを作成し、それらにマーカー遺伝子を導入する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
C型肝炎ウイルスのワクチン開発 (熊本大学)	麻疹ウイルス(クラス2)	C型肝炎ウイルス(クラス2)	麻疹ウイルスにC型肝炎ウイルスの一部遺伝子を導入する。同ウイルスをマウス等に接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
遺伝子改変単純ヘルペスウイルス1型を用いた癌標的化ウイルス療法の開発 (東京薬科大学)	Herpes simplex virus 1型(クラス2)	各種マーカー遺伝子	ヘルペスウイルスに変異及びマーカー遺伝子を導入する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
弱毒化麻疹ウイルスワクチン株を用いた効果的で安全な新規癌治療法の研究開発 (九州大学)	麻疹ウイルスのうち、ワクチン株(クラス1)	麻疹ウイルス(クラス2)	麻疹ウイルスのワクチン株に変異を導入する。変異には野生型由来の配列も含まれる。同ウイルスをマウス等に接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	ワクチン株ではない野生型の宿主と比較して、病原性等が変化することが想定されないため。
その他、申請者の希望により、非公表が6件。						

第84回 (H23.11.18)	子宮頸がん細胞を標的とした制限増殖型組換えアデノウイルスの開発 (国立がん研究センター)	アデノウイルス(クラス2)	パピローマウイルス(クラス2)、各種マーカー遺伝子等	パピローマウイルス等由来の遺伝子を導入した、遺伝子組換えアデノウイルスを作成する。また、同ウイルスを培養細胞又はマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	組み換えヒト免疫不全ウイルスを用いたHIV遺伝子機能解析-2 (東京大学)	HIV1型(クラス3)	encephalomyocarditis virus(クラス2)、各種マーカー遺伝子(クラス1)	HIV1型に変異、マーカー遺伝子、他のウイルス由来の遺伝子を導入する。	1-へ	P3	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	遺伝子改変動物細胞と植物細胞の融合実験 (鳥取大学)	親生物として以下を用いる シロイナズナ、ヒト等(クラス1)	/	シロイナズナ、ヒト(一部染色体のみ用いる)の細胞融合実験を行ない、改変されたシロイナズナを栽培する。	細胞融合実験	P1P	異なる分類学の科に属する生物の細胞を融合し、植物個体を育成するため、法対象となる。哺乳動物等への病原性等はない。
	EnvAをもつG欠損型狂犬病ウイルスとTVA発現型レトロウイルスを用いた新生ニューロン標識とその構造・機能解析 (東北大学)	Rabies Virusの弱毒化株(クラス2)、Mammalian retrovirus(クラス2)	Avian retrovirus(クラス2)、各種マーカー遺伝子等	一部遺伝子が欠損した遺伝子組換え狂犬病ウイルス、外来遺伝子を導入したレトロウイルスを作成する。また、それらウイルスを培養細胞又はラットに接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	C蛋白質およびp150蛋白質に変異を導入した風疹ウイルスの作成と感染実験 (国立感染症研究所)	風疹ウイルス(クラス2)	風疹ウイルス(クラス2)、各種マーカー遺伝子(クラス1)	風疹ウイルスに変異及びマーカー遺伝子を導入する。	1-イ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	リバーシジェネティクスによるリコンビナントRVFV-MP12の作成 (国立感染症研究所)	Rift Valley fever virus(クラス3)	各種マーカー遺伝子等(クラス1)	リフトバレーウイルスに、マーカー遺伝子等を導入する。	1-ハ 1-へ	P3	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。

ヒトT細胞白血病ウイルス1型を含むヒトレトロウイルス感染症に対する新規治療法の開発 (国立感染症研究所)	Vesicular stomatitis Indianaウイルス(クラス2)	ヒト(クラス1)	ヒトの遺伝子を導入したVSVウイルスを作成する。また、同ウイルスを培養細胞やマウスに接種する。その際、レトロウイルスを同時に接種する。	1-へ 3-イ	P2、P3、P3A	宿主の病原性等が変化することが想定されないが、レトロウイルスと同時接種する際、同ウイルスがクラス3であることを考慮し、P3の拡散防止措置
SFTSウイルスのエンベロップ、コア蛋白質及び非構造蛋白質cDNAを用いた実験室診断法の開発 (国立感染症研究所)	大腸菌(クラス1)又はバキュロウイルス(クラス1)	Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome virus (未分類)	宿主にSFTSウイルスの一部遺伝子を導入する。	1-イ	P2	核酸供与体であるウイルスは、カルタヘナ法上の実験分類が決められていないが、クラス3と同様の病原性等を有すると想定されるため。
Respiratory syncytial virus(RSV)のM2,N蛋白とインフルエンザウイルスM2, N蛋白を発現する組換え弱毒麻疹ワクチンウイルスAIK-C株の樹立 (北里大学)	麻疹ウイルスのワクチン株(クラス1)	Respiratory syncytial virus(クラス2)、Influenzaウイルス(クラス2)	RSV由来又はインフルエンザ由来の遺伝子を導入した、遺伝子組換え麻疹ウイルスを作成する。また、それらを培養細胞又はラットに接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	ワクチン株ではない野生型の宿主と比較して、病原性等が変化することが想定されないため。
腫瘍溶解性アデノウイルスを用いた新しい癌ワクチン療法の開発 (兵庫医科大学)	アデノウイルス(クラス2)	マウス(クラス1)等	マウス由来の遺伝子を導入した、遺伝子組換えアデノウイルスを作成する。また、同ウイルスを培養細胞又はマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
インフルエンザの霊長類感染モデルにおける研究 (京都大学)	Influenzaウイルス(クラス2又は3)	Influenzaウイルス(クラス2又は3)、Vesicular stomatitis Indianaウイルス(クラス2)	VSVウイルスの一部遺伝子を含む、インフルエンザの株間キメラを、動物に接種する。	1-へ 3-イ	P3A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。

	単純ヘルペスウイルス I 型 組換えウイルスによる Resporatory Syncytial virus ウイルス様粒子の産生 (福島県立医科大学)	Herpes simplex virus 1型(クラス2)	Respiratory syncytial virus(ク ラス2)	RSV由来の遺伝子を導入した、遺伝 子組換えHSVを作成する。また、そ れらを培養細胞又はマウスに接種 する。	1-へ 3-イ	P2、P2A	宿主の病原性等 が変化すること が想定されない ため。
	その他、申請者の希望により、非公表が2件。						
第85回 (H24.1.27)	セルラーゼ等自己糖化型遺 伝子導入葉緑体形質転換 タバコの特性評価 (農業生物資源研究所)	タバコ(クラス1)	Thermotoga科、 Acidothermus科、 Clostridium科に 属する微生物の 一部(クラス1)	微生物由来のセルラーゼ遺伝子を 葉緑体に導入した、遺伝子組換えタ バコを栽培する。	4-ロ	特定網室	供与核酸は葉緑 体ゲノムに組み 込まれており、特 定網室の拡散防 止措置で十分で あると考えられる ため。
	ヒメトビPウイルスの完全長 cDNA由来感染性粒子の欠 損・挿入変異株を用いたウ ンカ類のウイルスベクター の開発 (農業生物資源研究所)	ヒメトビPウイルス (クラス1)	各種マーカー遺 伝子等(クラス1)	変異やマーカー遺伝子を導入した遺 伝子組換えヒメトビPウイルスを作製 する。また、同ウイルスを培養細胞 や昆虫に接種する。昆虫に給餌する 植物幼苗にウイルスが付着する可 能性があるので、同植物についても 拡散防止措置を執る。	1-へ 3-イ	P1, P1A, P1P	宿主の病原性等 が変化すること が想定されない ため。
	リバーシジェネティクス法を 用いた内部遺伝子改変イン フルエンザウイルスの作製 (農業・食品産業技術総合 研究機構)	インフルエンザウ イルス(クラス2, 3)	インフルエンザウ イルス(クラス2, 3)	宿主のウイルスに変異を加える。ま た、同ウイルスを鶏に接種する。	1-へ 3-イ	P3, P3A	宿主の病原性等 が変化すること が想定されない ため。

ニューカッスル病ウイルス(NDV)F蛋白遺伝子及び鶏伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス(IBDV)VP2蛋白遺伝子の融合遺伝子を挿入した七面鳥ヘルペスウイルス(HVT)の鶏接種実験 (畜産生物科学安全研究所)	七面鳥ヘルペスウイルス(クラス1)	Newcastle disease virus、Infectious bursal disease virus(クラス2)	Newcastle disease virus及びInfectious bursal disease virusの一部遺伝子を導入した遺伝子組換え七面鳥ヘルペスウイルスを、鶏に接種する。	1-へ 3-イ	P2A	宿主の病原性等が変化することは想定されないが、核酸供与体の実験分類にあわせた拡散防止措置を執る。
ニューカッスル病ウイルス(NDV)F蛋白遺伝子及び／又は鶏伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス(IBDV)VP2蛋白遺伝子を挿入した七面鳥ヘルペスウイルス(HVT)の鶏接種実験 (畜産生物科学安全研究所)	七面鳥ヘルペスウイルス(クラス1)	Newcastle disease virus、Infectious bursal disease virus(クラス2)	Newcastle disease virus やInfectious bursal disease virusの一部遺伝子を導入した遺伝子組換え七面鳥ヘルペスウイルスを、鶏に接種する。	1-へ 3-イ	P2A	宿主の病原性等が変化することは想定されないが、核酸供与体の実験分類にあわせた拡散防止措置を執る。
ニューカッスル病ウイルス(NDV)F蛋白遺伝子又は鶏伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス(IBDV)VP2蛋白遺伝子を挿入したマレック病ウイルス(MDV)の鶏接種実験 (畜産生物科学安全研究所)	Marek's disease virus(クラス2)	Newcastle disease virus、Infectious bursal disease virus(クラス2)	Newcastle disease virus やInfectious bursal disease virusの一部遺伝子を導入した遺伝子組換えマレック病ウイルスを、鶏に接種する。	1-へ 3-イ	P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
Escherichia albertii及びEscherichia coliのゲノム上に存在するstx2f遺伝子保有プロファージの解析 (宮崎大学)	ファージ(未分類)	大腸菌(クラス1)	Escherichia coli(クラス2)又はEscherichia albertii(未分類)に溶原化したファージに変異を加える。	1-へ	P2	ファージが溶原化している微生物の病原性等が変化することが想定されないため。

	遺伝子組換えレオウイルスを用いた癌治療に関する研究 (大阪大学)	レオウイルス(クラス1)	ヒト、各種マーカー遺伝子等(クラス1)	変異やマーカー遺伝子を導入した遺伝子組換えレオウイルスを作製する。また、同ウイルスをマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P2, P2A	新たな感染特異性を獲得する可能性があるため、P2レベルの拡散防止措置を執る。
	その他、申請者の希望により、非公表が3件。						
第86回 (H24.2.20)	2種の外来遺伝子(NDVのF、IBDVのVP2遺伝子)を挿入したHVTワクチン株を宿主とする多価組換えウイルスの開発-4 (セバ・ジャパン株式会社)	Turkey herpesvirus(クラス1)	Newcastle disease virus(クラス2)、Infectious bursal disease virus(クラス2)	七面鳥ヘルペスウイルスに、他のウイルス由来の遺伝子を導入した遺伝子組換えウイルスを作製する。	1-へ	P2	核酸供与体の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。
	2種の外来遺伝子(NDVのF、IBDVのVP2遺伝子)を挿入したHVTワクチン株を宿主とする多価組換えウイルスの開発-5 (セバ・ジャパン株式会社)	Turkey herpesvirus(クラス1)	Newcastle disease virus(クラス2)、Infectious bursal disease virus(クラス2)	七面鳥ヘルペスウイルスに、他のウイルス由来の遺伝子を導入した遺伝子組換えウイルスを作製する。	1-へ	P2	核酸供与体の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。
	リバーシジェネティックスを用いた自己増殖型リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルスの作製 (国立感染症研究所)	LCMvirus(クラス2)	LCMvirus(クラス2)	変異を導入した遺伝子組換えLCMVを作製する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
	ヒトエンテロウイルスを用いた効果的で安全な新規癌治療法の研究開発 (九州大学)	申請者の希望により非公表			1-へ 3-イ	P2, P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
第87回 (H24.3.16)	E型肝炎ウイルスの複製に必須な部位の解析 (国立感染症研究所)	Hepatitis E virus(クラス2)	Hepatitis E virus(クラス2)	宿主のウイルスに変異を加える。また、それをマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P2, P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。

サルから分離されたイヌジステンパーウイルス(CDV)をベースとした組換えCDVの作製及び血球系、上皮系等の細胞への感染性と病原性の解析 (国立感染症研究所)	Canine distemper virus(クラス2)	Canine distemper virus(クラス2)	CDVの株間キメラを作製する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
ルナウイルスのエンベロープおよびコア蛋白質cDNAを用いた抗体検出法の開発 (国立感染症研究所)	大腸菌、バキュロウイルス(クラス1)	Luna virus(未分類)	ルナウイルス由来の一部遺伝子を導入した、遺伝子組換え大腸菌やバキュロウイルスを作製する。	1-へ	P2	核酸供与体の病原性等に考慮してP2の拡散防止措置を執る。
Riverse geneticsにより組換え狂犬病ウイルスの作製及び性状解析 (国立感染症研究所)	狂犬病ウイルス(クラス2, 3)	狂犬病ウイルス(クラス2, 3)、各種マーカー遺伝子等(クラス1)	狂犬病ウイルスの株間キメラを作製する。また、それを培養細胞又はマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P3, P3A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。(クラス3のウイルス由来の遺伝子を含まない場合、P2, P2Aの措置を執る)
リバースジェネティクス(RG)技術を用いたA型インフルエンザウイルスワクチン製造種株(RGワクチン製造種株)の作製・増殖、およびRGワクチン製造種株の輸入・増殖 (国立感染症研究所)	インフルエンザウイルス(クラス2, 3)	インフルエンザウイルス(クラス2, 3)	インフルエンザの株間キメラを作製する。また、それをマウス等に接種する。	1-へ 3-イ	P2, P3, P3A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。(クラス3のウイルス由来の遺伝子を含まない場合、P2の措置を執る)

リバーシジェネティクス法を用いた内部遺伝子改変インフルエンザウイルスの作製 (農業・食品産業技術総合研究機構)	インフルエンザウイルス(クラス2, 3)	インフルエンザウイルス(クラス2, 3)	宿主のウイルスに変異を加える。また、同ウイルスを鶏に接種する。	1-へ 3-イ	P3, P3A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
Escherichia albertiiの病原関連遺伝子群の解析 (宮崎大学)	E.albertii(未分類)	大腸菌(クラス1)	大腸菌由来の遺伝子を、大腸菌の近縁種であるE.albertiiに導入した、遺伝子組換え微生物等を作製する。	1-イ	P2	宿主である細菌は、カルタヘナ法上の実験分類が決められていないが、クラス2と同様の病原性等を有すると想定されるため。
マーカー遺伝子を発現する組換えマウスサイトメガロウイルスの作製とマウスにおけるその感染機構の解析 (浜松医科大学)	Cytomegalovirus(クラス2)	各種マーカー遺伝子等(クラス1)	マーカー遺伝子を導入した遺伝子組換えサイトメガロウイルスを作製する。また、同ウイルスをマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P2, P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
組換えEBウイルスの作製によるEBウイルスの分子生物学的研究 (北海道大学)	Epstein-Barr virus(クラス2)	Epstein-Barr virus(クラス2)、各種マーカー遺伝子等(クラス1)	変異やマーカー遺伝子を導入した遺伝子組換えEBウイルスを作製する。また、同ウイルスをマウスに接種する。	1-へ 3-イ	P2, P2A	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
リコンビナントウイルスを使ったパラミクソウイルス増殖機構の解明 (和歌山県立医科大学)	Sendai virus, Mumps virus, Parainfluenza virus 2型, Simian virus5 (クラス2)	Sendai virus, Mumps virus, Parainfluenza virus 2型, Simian virus5 (クラス2)、オワンクラゲ(クラス1)	宿主のウイルスに変異を加えるとともに、マーカー遺伝子を導入する。	1-へ	P2	宿主の病原性等が変化することが想定されないため。
その他、申請者の希望により、非公表が4件。						